



2023年7月19日

アフラック生命保険株式会社
Aflac Ventures Japan 株式会社

「かんぼ生命・アフラック Acceleration Program 2023」 採択企業の発表

アフラック生命保険株式会社（代表取締役社長：古出 眞敏、以下「アフラック生命」）と、Aflac Ventures Japan 株式会社（代表取締役：島田 智行、以下「AVJ」）は、株式会社かんぼ生命保険（東京都千代田区、取締役兼代表執行役社長：谷垣 邦夫、以下「かんぼ生命」）と、新たなパートナーとの協業を通じて事業の創出を目指す「かんぼ生命・アフラック Acceleration Program 2023」を共催し、採択企業を選定しましたのでお知らせします。

「かんぼ生命・アフラック Acceleration Program」は、様々なアイデアや技術を持つパートナーとの協業を通じて、多様化/複雑化するお客様のニーズに応え、顧客体験価値の向上や、新たな事業の創出を目的としており、昨年初めて開催されました。2回目となる今回は「ヘルスケア/介護と保険」をテーマに共催し、2023年7月11日（火）に実施した最終にあたる三次選考（ピッチイベント）では、アフラック生命、AVJ、かんぼ生命の各社代表に加え、関係役員が事業性、協業の実現性等の観点から審査を行い、かんぼ生命との共同採択を含め7社を採択しました。

なお、共同採択企業とは、かんぼ生命とアフラックの在宅介護関連サービスにおける共同の取り組みである「くらしと介護サポート」での協業検討を予定しています。

今後、アフラックグループでは、以下スタートアップ企業の皆さまと協業の検討を開始し、お客様への提供価値の向上に取り組んでまいります。

【かんぼ生命、アフラック共同採択企業】

1. 株式会社 nabe（長野県松本市、代表取締役：ブラウン マイケル ジャスティン）
シニアの健康寿命の延伸を目的に、シニアと第三者がインターネット上で会話することを習慣化するサービス「nabetomo」を提供。

<https://www.nabetomo.com/about-us>

【アフラック採択企業】

2. 株式会社メディコレ（東京都港区、代表取締役：橋本礼次郎）
医療健康情報を含むメディア記事や PR 文書、顧客説明資料などに対してオンラインで医師監修とコメント取得ができる「メディコレ WEB」を提供。

<https://medicolle.co.jp/>

3. 株式会社 Smart Opinion（東京都港区、代表取締役社長：山並憲司）
乳がんの超音波画像 AI 診断ソフトウェア（医療機器）を開発。また、製薬企業向けに患者サポートプログラムを提供。
<https://www.smartopi.com/>
4. SecureNavi 株式会社（東京都中央区、代表者：井崎友博）
情報セキュリティ認証制度である、ISMS・P マークの認証取得・運用を行うオートメーションツール「SecureNavi」を提供。
<https://secure-navi.jp/company>
5. BABY JOB 株式会社（大阪市淀川区、代表取締役社長：上野公嗣）
保護者と保育士の手間を省く保育所おむつ定額サービス「手ぶら登園」、保護者向け保育園探し支援サービス「えんさがそっ♪」を提供。
<https://baby-job.co.jp/>
6. オリジナルライフ株式会社（東京都中央区、代表取締役：榎本純）
結婚に必要な準備についてパーソナライズされた情報を配信する、Z 世代向けの結婚準備アプリ「ウェディングニュース」を運営。
<https://weddingnews.jp/company>
7. 株式会社ジェイタマズ（東京都千代田区、代表取締役 CEO：小池桃太郎）
アポイントを取らずに WEB サイトの訪問者へ最適なタイミングで商談を行える「OPTIMO」を提供。
<https://j-tamas.com/aboutus/>



※採択された企業（一部）とかなぼ生命及びアフラックの社長

【ご参考】

■「かなぼ生命・アフラック Acceleration Program 2023」の共催について：

https://www.aflac.co.jp/news_pdf/2023032202.pdf

■くらしと介護サポート

<https://kurashi-kaigo.jp/lp>

広範かつ多岐にわたるご高齢者の暮らしや介護にまつわるお悩みやお困りごとによりその、その緩和や解決のサポートをワンストップで行うコンシェルジュサービスです。知識と経験を備えた専門のコンシェルジュチームが、電話やオンラインでご高齢者ご本人またはご家族のお悩みやお困りごとをお伺いし、適切な情報や本サービスのご案内などを通じて、課題の緩和や解決をサポートします。在宅介護期だけでなく、プレフレイル・フレイル*段階や介護認定前のタイミングから、また、ご高齢者ご本人のことだけではなく、仕事と介護の両立などご家族のお悩みにも対応します。

* フレイルとは要介護状態になる前段階の加齢とともに運動機能や認知機能等といった心身の活力が低下している状態を指します。プレフレイルはフレイルの前段階を指します。